

Science Ghost Lab | CCB2026

光の反射で、千葉市場に
未来のまぼろしを出現させる。

ペッパーズ・ゴーストを用いた疑似ホログラム制作・
実装プロジェクトのご提案



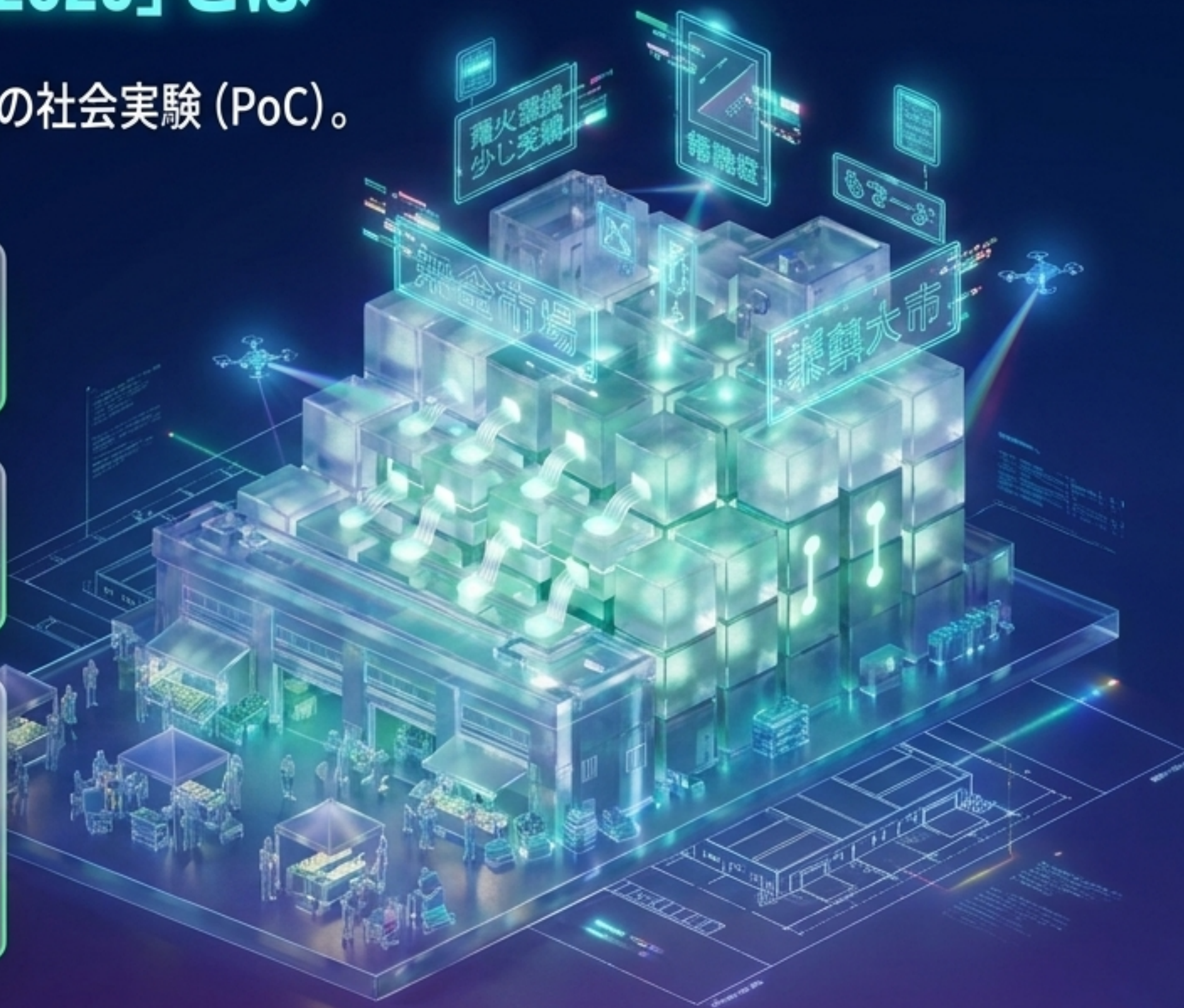
舞台となる「CHIBA CITY BLUES 2026」とは

千葉開府900年に合わせた、市場から始まる未来都市の社会実験 (PoC)。

日程：2026年11月28日(土)～29日(日)

会場：千葉市地方卸売市場 ～ 稲毛エリア

概要：音楽、映像、夜市、VR、そして「教育」を組み合わせ、現実の市場を一夜限りの未来都市へと再編集する回遊型都市体験イベント。



なぜ「科学館」との連携なのか？

子どもたちを、未来都市の「観客」から「作り手」へ変えるため。

千葉市科学館 (学びのインプット)



科学館という専門的な場で、
光の反射や錯視といった
「科学の原理」を
正しく体験的に学ぶ。

千葉地方卸売市場 (体験のアウトプット)



学んだ科学をそのまま
「都市体験の演出」として、
地域イベント(市場)の
暗闇に実装する。

コア技術「ペッカーズ・ゴースト」とは

透明板に映像を反射させ、そこに存在しないものを空間に浮かび上がらせる古典的な錯視技法。

学べる科学要素：

- ① 光の反射（入射角と反射角）
- ② 透明板の光学的性質
- ③ 錯視と視点の関係



ワークショップ案「Science Ghost Workshop」

光の反射で、未来のまぼろしを作ろう。

制作物：スマートフォンと
アクリル板等を組み合わせた
「小型疑似ホログラム装置」

対 象：小学生高学年～中高生、
親子連れ

①暗箱（黒背景の段ボール等）

②45度のアクリル板

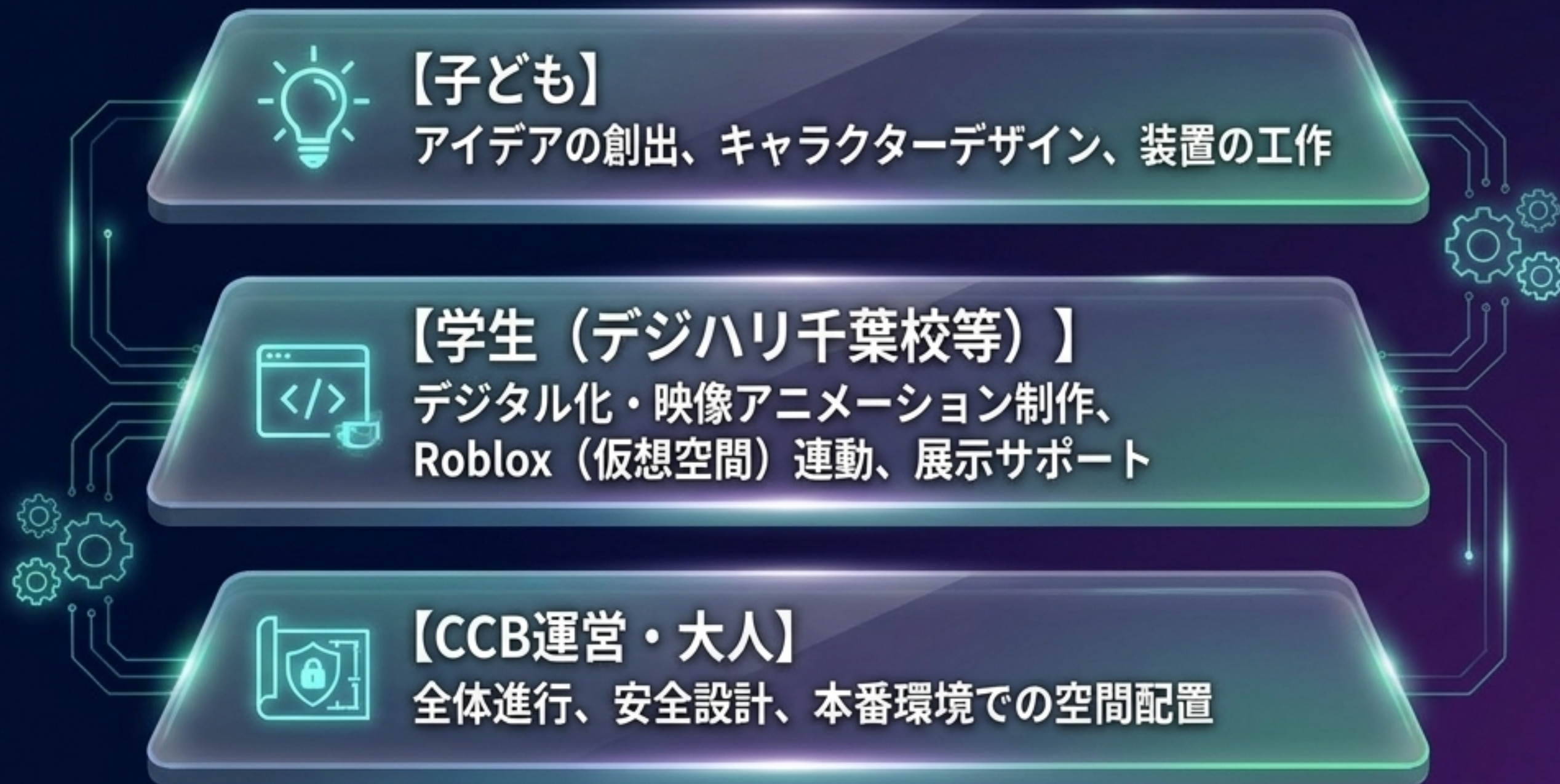
③スマホ・タブレット
（映像再生）

④台座・LEDライト



共創のエコシステム：子ども・学生・大人の連携

「子どもに作らせる」のではなく、多世代で未来都市の演出を共創する実践体制。



CCB本番への実装「Science Ghost Spots」

展示して終わりではない。市場の夜を歩く来場者が出会う、光の演出として実装する。

- ①暗闇の回遊導線上に、子どもたちの作品を「Ghost Spots」として点在配置。
- ②市場にまつわるキャラクター（光る魚、月の案内人など）が夜市を彩る。
- ③実空間だけでなく、Roblox/VR上の仮想会場にも連動して出現。



教育的価値の統合：横断的な学びのサイクル

理科・図工・社会を横断し、「自分の作品が社会（街）で機能する」実践的経験を提供する。



安全・権利・運営の徹底 (Safety & Compliance)

子どもたちと来場者の安全、およびデジタル時代のリスク管理を最優先事項として設計します。



【物理的・空間的安全】

- ✓ アクリル板の角丸処理
- ✓ 暗所展示における転倒防止導線
- ✓ 電源ケーブルの養生・熱管理



【権利・デジタル安全】

- ✓ 未成年の作品利用における保護者の事前同意徹底
- ✓ 著作権・肖像権のクリアランス
- ✓ 既存IP（キャラクター等）の排除とオリジナル制作の徹底

Next Steps : まず、ご相談したいこと

未来都市の実装に向けた第一歩として、まずは30分程度の意見交換をお願いいたします。



1. ワークショップ開催の可能性・時期・対象年齢のすり合わせ
2. 科学館の設備環境と安全基準の確認
3. デジタルハリウッド等、学生連携の可否
4. CCB本番展示（市場への持ち込み）に向けた条件確認

Let's Build the Future Chiba.